



中国 5 県地域おこし協力隊研修会・神石高原町ふるさと回帰塾 受講レポート

広島県神石高原町で開催されたこの研修会は、「里山資本主義」の聖地として、地域全体の活性化につながる事例が増えた広島県での成果を、中国地方の地域おこし協力隊員で収集・共有するために開催されました。

地域おこし協力隊が携わっている事例として、スポーツイベントを通して地域のファンを増やして地域経済が活性化する仕組みを考案した“安芸太田スポーツサーキット”や、地域の自治会が主体となって廃校となった小学校を地域交流の場として再生させた“廃校再生プロジェクト”など、様々な事例を知る事ができました。

里山資本主義を唱えた藻谷浩介氏は、「50年前と大きく変わったのは、子どもの数と平均寿命。人生は9回裏(90歳代後半)までである。65歳以降からの人生を豊かに過ごすためには、里山資本主義の実践を考えてほしい。」と話されました。65歳までの生活の中で、地域とのつながりを作ったり、楽しみ方を見つけたりして、9回裏までの人生を豊かに過ごせるようにしていきたいと思えます。

「里山資本主義」とは？

里山に、自然環境や人間関係などの「金銭換算できない価値」と、多様な資源の活用をはじめとする「金銭換算可能な価値」の両方を見出し、これらの価値を最大限に生かして、資本主義に足りないものを補うことを目指す、新しい資本主義のあり方です。



事例発表の様子

湯崎広島県知事も登壇し、講評をされました。



📷 今月号の1枚

写真好きの私が撮影した和木町の景色をご紹介します。

蜂ヶ峯総合公園のバラ園。

春に咲くバラもちろん好きですが、秋のバラもじっくりと落ち着いた色味で、見ていると気分も落ち着いてきます。

秋のバラは曇り空にも映えますね☺

(撮影日：10月26日)



10月のふりかえり

鹿児島、山口、神石高原と出張が多く、忙しくも気分転換できて楽しめた月でした。仕事で色々な場所に行かせていただき、貴重な経験をさせていただいています。来月以降は少し落ち着きそうなので、3年間の活動報告のまとめを進めていきたいと思えます！

11月のわきおこし予定

★11月4日

「わき愛あいフェスティバル」出店、取材

★3年間の活動報告のまとめを進めます！

「わきおこしんぶん」は、役場、文化会館、図書館、コミュニティセンター、和木郵便局で配布もしています！

Facebook・ブログでもご覧いただけます！

Facebook

www.facebook.com/nigiwaiwaki

ブログ「わきおこし・わきらいふ」

wakiokoshi.wordpress.com

随時
更新中

★町内の行事や、町内でがんばっている方など、Facebook、ブログ、わきおこしんぶんで紹介させていただきます！お気軽にご連絡ください☆

制作：和木町地域おこし協力隊 安井 絵美

〒740-0061 山口県玖珂郡和木町和木 1-1-1

(一社)和木町地域振興協会事務所内

TEL：0827-28-4666 FAX：0827-28-4661

MAIL：eyasui.waki@gmail.com